



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月12日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東  
 コード番号 4171 URL <https://corporate.gii.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 樋口 莊祐  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO兼管理部長（氏名） 杜山 悦郎（TEL）044-952-0102  
 半期報告書提出予定日 2025年8月12日 配当支払開始予定日 2025年9月3日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	1,502	0.3	265	△8.3	255	△20.4	172	△19.4
2024年12月期中間期	1,497	△2.7	289	△7.0	320	△7.4	214	△2.6

（注）包括利益 2025年12月期中間期 172百万円（△19.4%） 2024年12月期中間期 214百万円（△2.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	58.30	58.19
2024年12月期中間期	72.64	72.45

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	3,273	2,550	77.9
2024年12月期	3,164	2,469	78.0

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 2,549百万円 2024年12月期 2,469百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	26.00	—	34.00	60.00
2025年12月期	—	30.00	—	—	—
2025年12月期（予想）	—	—	—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,025	10.0	479	9.6	480	3.2	330	4.9	111.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2025年12月期中間期	2,969,000株	2024年12月期	2,962,200株
2025年12月期中間期	681株	2024年12月期	681株
2025年12月期中間期	2,963,237株	2024年12月期中間期	2,950,723株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2025年8月27日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページ（<https://corporate.gii.co.jp>）に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年1月1日~2025年6月30日)における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化等、地政学リスクが依然として燻る状況にあり、加えて米国の通商政策の変更による影響等から、景気の先行き不透明感が高まっております。日本国内においては、景気が緩やかに回復しつつある一方、物価の上昇や為替変動等が国内経済に与える影響も懸念され、依然として注視が必要な状況となっております。

そうした中、当社グループが属する市場調査レポート出版業界においては、最新の市場動向調査レポートに対するニーズが益々高まっております。一方で、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版会社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社グループは幅広い顧客ニーズに対応するため、当社WEBサイトにおいてレポートをはじめとする商品ラインナップの拡大に努めており、AIプラットフォーム型コンテンツの販売にも注力しております。この他、定期的に調査会社との共催セミナーを開催し、関心の高いテーマに関する情報発信に注力しております。販売面では、各種AIツールの提供や購入後のアフターフォロー強化等により、顧客満足度の向上に努めました。顧客の要望に応じたレポートのカスタマイズや委託調査へのアップセルを積極的に提案する取組みを通じて、より付加価値の高い情報サービス需要を開拓しております。同時に、各種WEBマーケティング施策や広告媒体への出稿を行い、GIIブランドの認知度向上による顧客基盤の拡大を図っております。また、国際会議・展示会事業においては、実地開催を中心に徐々に取扱いを増やしております。

株式会社ギブテックにおいては、ZETA通信の基本デバイス(基地局、中継器)及びセンサー類を含む自社ブランド製品「JAZE」シリーズの製品ラインナップを拡充し、スマートビルディングをはじめ様々な分野での用途拡大に向け、事業展開しております。また、展示会等のイベントにおいて、非接触にて名刺情報の入手や資料データの提供を行うことができる非接触型情報受け渡しツール「AiMeet(アイミート)」の販売にも取り組んでおります。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は1,502,816千円(前年同期比0.3%増)、営業利益は265,150千円(前年同期比8.3%減)、経常利益は255,280千円(前年同期比20.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は172,761千円(前年同期比19.4%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

#### (a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、営業部門による顧客訪問を通じて、顧客との関係構築・ニーズの聞き取りに努めてまいりました。本社部門においては、4月以降、市場調査レポートの受注が伸び悩んでおり、売上高は前年同期を下回りました。海外部門においては、海外4支店ともに低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期比7.6%減の1,199,443千円となりました。

#### (b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門、海外部門いずれにおいても堅調に推移しており、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期比2.0%増の89,175千円となりました。

#### (c) 委託調査事業

委託調査事業は、本社部門においては、委託調査案件数・受注単価ともに伸長しており、売上高は前年同期を大きく上回りました。海外部門においては、委託調査案件数の回復が見られ、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期比125.1%増の176,267千円となりました。

(d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、欧米開催の国際会議・展示会を中心に好調に推移しており、本社部門、海外部門合計の売上高は前年同期を上回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期比22.2%増の17,344千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は前年同期比0.3%増の1,482,230千円となり、セグメント利益(営業利益)は271,826千円となりました。

(その他事業)

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT向け無線通信方式であるLPWA通信に関する製品の販売、受託開発等を主な事業にしております。自社ブランド製品「JAZE」シリーズ及び非接触型情報受け渡しツール「AiMeet」の販売活動を進めており、売上高は前年同期比2.0%増の20,585千円となり、セグメント損失(営業損失)は、7,336千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、109,110千円増加の3,273,855千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、94,516千円増加の3,161,592千円となりました。この主な要因は、現金及び預金の225,904千円増加、売掛金の107,972千円減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、14,594千円増加の112,262千円となりました。この主な要因は、繰延税金資産の14,244千円増加等によるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、28,410千円増加の723,703千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、19,993千円増加の410,088千円となりました。この主な要因は、未払法人税等の41,993千円増加、賞与引当金の31,750千円増加、支払手形及び買掛金の49,134千円減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、8,417千円増加の313,615千円となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の7,530千円増加等によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、80,699千円増加の2,550,152千円となりました。この主な要因は、利益剰余金の72,070千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は77.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末と比べ、225,819千円増加し、2,095,515千円となりました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は348,679千円(前年同期は370,418千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益255,280千円、賞与引当金の増加31,750千円、売上債権の減少84,521千円、仕入債務の減少24,059千円、法人税等の支払額54,853千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は803千円(前年同期は806,372千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出602千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は100,634千円(前年同期は76,082千円の減少)となりました。これは、配当金の支払額100,634千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、前回公表(2025年2月10日付)いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,669,654	2,895,559
受取手形	2,492	3,135
売掛金	254,857	146,885
商品及び製品	11,624	9,348
原材料及び貯蔵品	8,421	7,450
前渡金	101,780	76,705
その他	18,244	22,507
流動資産合計	3,067,076	3,161,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	25,113	24,647
車両運搬具(純額)	4,658	3,882
工具、器具及び備品(純額)	5,428	4,846
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	48,139	46,316
無形固定資産		
商標権	109	97
ソフトウェア	671	661
その他	465	465
無形固定資産合計	1,246	1,224
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,281	30,526
その他	32,001	34,195
投資その他の資産合計	48,283	64,721
固定資産合計	97,668	112,262
資産合計	3,164,745	3,273,855

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	115,341	66,206
未払金	34,542	27,081
未払法人税等	59,665	101,659
未払消費税等	21,077	56,293
前受金	121,641	98,066
賞与引当金	5,381	37,132
その他	32,443	23,648
流動負債合計	390,094	410,088
固定負債		
退職給付に係る負債	18,843	19,730
役員退職慰労引当金	286,355	293,885
固定負債合計	305,198	313,615
負債合計	695,292	723,703
純資産の部		
株主資本		
資本金	171,565	175,920
資本剰余金	150,573	154,929
利益剰余金	2,147,203	2,219,273
自己株式	△145	△145
株主資本合計	2,469,196	2,549,977
非支配株主持分	256	174
純資産合計	2,469,453	2,550,152
負債純資産合計	3,164,745	3,273,855

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,497,692	1,502,816
売上原価	780,514	783,834
売上総利益	717,178	718,982
販売費及び一般管理費	427,872	453,832
営業利益	289,305	265,150
営業外収益		
受取利息	255	839
為替差益	30,645	-
債務勘定整理益	289	-
その他	74	922
営業外収益合計	31,265	1,762
営業外費用		
為替差損	-	11,632
営業外費用合計	-	11,632
経常利益	320,570	255,280
特別損失		
その他	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前中間純利益	320,570	255,280
法人税、住民税及び事業税	118,588	96,844
法人税等調整額	△12,226	△14,244
法人税等合計	106,362	82,600
中間純利益	214,208	172,680
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△132	△81
親会社株主に帰属する中間純利益	214,340	172,761

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
中間純利益	214,208	172,680
中間包括利益	214,208	172,680
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	214,340	172,761
非支配株主に係る中間包括利益	△132	△81

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	320,570	255,280
減価償却費	1,596	2,561
敷金償却	334	334
株式報酬費用	978	3,278
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,988	31,750
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	550	887
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,515	7,530
受取利息及び受取配当金	△255	△839
為替差損益(△は益)	△40,097	21,423
その他の損益(△は益)	-	0
売上債権の増減額(△は増加)	137,129	84,521
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,283	3,232
仕入債務の増減額(△は減少)	△25,960	△24,059
その他の資産の増減額(△は増加)	3,212	△2,109
その他の負債の増減額(△は減少)	11,394	18,900
小計	443,672	402,693
利息及び配当金の受取額	255	839
法人税等の支払額	△73,510	△54,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	370,418	348,679
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,358	△602
無形固定資産の取得による支出	-	△114
定期預金の預入による支出	△800,000	△800,092
定期預金の払戻による収入	-	800,006
その他	△14	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△806,372	△803
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	476	-
配当金の支払額	△76,558	△100,634
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76,082	△100,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	40,097	△21,423
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△471,939	225,819
現金及び現金同等物の期首残高	2,400,415	1,869,696
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,928,475	2,095,515

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	1,297,572	—	1,297,572	—	1,297,572
年間情報サービス	87,453	—	87,453	—	87,453
委託調査	78,295	—	78,295	—	78,295
国際会議・展示会	14,190	—	14,190	—	14,190
その他	—	20,180	20,180	—	20,180
顧客との契約から生じる 収益	1,477,511	20,180	1,497,692	—	1,497,692
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,477,511	20,180	1,497,692	—	1,497,692
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,477,511	20,180	1,497,692	—	1,497,692
セグメント利益又は損失 (△)	300,622	△11,976	288,645	660	289,305

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去660千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	中間連結損益 計算書計上額 (注)2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	1,199,443	—	1,199,443	—	1,199,443
年間情報サービス	89,175	—	89,175	—	89,175
委託調査	176,267	—	176,267	—	176,267
国際会議・展示会	17,344	—	17,344	—	17,344
その他	—	20,585	20,585	—	20,585
顧客との契約から生じる 収益	1,482,230	20,585	1,502,816	—	1,502,816
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,482,230	20,585	1,502,816	—	1,502,816
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,482,230	20,585	1,502,816	—	1,502,816
セグメント利益又は損失 (△)	271,826	△7,336	264,490	660	265,150

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去660千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。